

令和 5 年 7 月 4 日

聖泉大学における ChatGPT 等の生成系 AI の使用に関する基本方針（第一報）

聖泉大学

学長 唐 楽寧

聖泉大学は、人間に対する理解を深め、広く社会と地域に貢献できる人材を育成することを目的としています。これを具体化するための一つが、自ら考え、判断し、行動する能力を身につけることにあります。

本学においては、学術的にも成長を加速する技術として期待されている ChatGPT 等の生成系 AI については、特に、文章要約や、翻訳など、所望タスクにあわせて自然言語を入力することで、要約や翻訳の結果を生成する ChatGPT 等の生成系 AI 活用を禁止するものではありません。

ただし、現在において著作権の侵害や学術上の独自性に係る問題が生じている事実や個人情報漏洩するなど懸念材料があることを十分に理解し、自らの責任のもと、十分に自ら考え、判断して安易な活用は避けるなど慎重に取扱うこととします。

本学では、ChatGPT 等の生成系 AI の活用について、具体的に以下のとおり十分に留意して活用することとします。また、今後係る技術は刻一刻と進化していることから、変更が必要となった場合は、改めて公表します。

○ChatGPT 等の生成系 AI の活用に関して相応のリスクが存在することを認識しておく必要があります。その生成された返答が 100%正しいという保証はありません。誤った事実をまるで真実かのように返答することもあります。

したがってレポート課題や卒業論文などの作成は、ChatGPT 等の生成系 AI で出力された回答をそのまま用いることは禁止します。

また、授業によっては、ChatGPT 等の生成系 AI の使用を一切禁止する、あるいは利用に際して制限を課すことがありますので ChatGPT 等の生成系 AI の使用については担当教員の指示に従ってください。

○個人情報の保護の観点から、ChatGPT 等の生成系 AI では入力した情報が他者からの質問の回答に利用される可能性があるため、また、他者の著作物が含まれていることもあり、時に剽窃とみなされたり、倫理上の問題に発展することもあり得ます。

したがって個人情報を含んだ内容などは ChatGPT 等の生成系 AI に入力しないでください。特にレポート課題や卒業論文などの作成にあたって留意してください。

○ChatGPT 等の生成系 AI の活用を深い学びにつなげていくことは大切です。

したがって自ら作成した文章の校正やデザインなどでアイディアを練る過程で活用する場合は回答の真偽を常にしっかり確認することを心がけてください。

なお、今後、提出したレポートに対して自分の言葉で説明を求めた上で採点する（学生へのインタビューや口述試験を含む）ことも検討しています。